



浜松市モデル特別賞

プラチナ大賞 地域資源で産業振興

未来の社会像を描いた行政や企業の先進的な取り組みを表彰する「第四回プラチナ大賞」の最終審査会が二

十六日、東京都千代田区であり、森林や太陽光の地域資源を活用した産業振興を推進して地方創生につなげる浜松市の自治モデルが審査員特別賞に輝いた。

を活用した地産地消・地産外商による地方創生」と題し、鈴木康友市長が発表した。

同賞は、少子高齢化や産業振興策などの課題を、アイデアあふれる方策などで解決している自治体や企業の取り組みを評価する民間団体「プラチナ構想ネットワーク」が実施。

最終審査には、全国五十四の自治体と企業から選ばれた十団体が登壇し、プレゼンテーション形式で取り組みを発表した。審査員特別賞は大賞と優秀賞に次いで五団体が選ばれた。

全国トップクラスの日照時間を活用して太陽光発電の導入を推進し、延べ千人余の新規雇用を生んだことや、天竜区の森林で生産されるスギやヒノキを原料とした国際認証材の事業化を軌道に乗せていることなどを紹介。エネルギーの自給率向上や森林整備で自然災害の抑制にもつながる取り組みを期待した。

プレゼンテーションする浜松市の鈴木康友市長。東京都千代田区で

(赤野嘉春)